

二〇二四年

二月二十三日(金・祝)

十三時開演

ロームシアター京都

サウスホール

【能/石橋(和合連獅子)】

人間国宝

金剛永謹/金剛龍謹

【舞囃子/乱】金剛龍謹

【舞囃子/雪】金剛永謹

【空間演出・美術】大船真言

魅する

み 《継承と創造》

舞金剛

2024

2024



チケット料金 全席指定

一般	ユース(25歳以下)	18歳以下	一般(2階席)
5,000円	3,000円	1,000円	4,000円

□未就学児入場不可 □25歳以下のチケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください
□英語音声ガイドを実施 □ヒアリングループ席あり □託児サービスあり



▲詳細

発売日

先行発売日: 2023年11月11日(土)

※フレンズ会員(オンライン会員)、
Club会員(京都コンサートホール・
ロームシアター京都共通の会員制度)・
京響友の会会員

一般発売日: 2023年11月18日(土)

アクセス

ロームシアター京都

〒606-8342

京都市左京区岡崎最勝寺町13

TEL 075-771-6051(代表)

京都市営地下鉄東西線「東山」駅
下車1番出口より徒歩約10分他

お問い合わせ先

ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL 075-746-3201

チケット取扱

オンラインチケット

24時間購入可 ※要事前登録(無料)

https://www.s2e-get.jp/kyoto/pt/

ロームシアター京都

チケットカウンター

TEL 075-746-3201

窓口・電話とも10:00~17:00/年中無休

※臨時休館日等により変更の場合あり

京都コンサートホール

チケットカウンター

TEL 075-711-3231

窓口・電話とも10:00~17:00/

第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日

チケットぴあ

TEL 0570-02-9999

POUF 522-093

2023年12月8日(金) 18時

関連企画・特別講座

「舞金剛」の魅力と、その起源

“舞金剛”の魅力に迫る特別講座を開催します。

大正元元に金剛流を記録した秘蔵映像の上映も行います。



金剛謹之輔の能「望月」の映像(アルベール・カーン美術館所蔵)

登壇 金剛永謹/金剛龍謹/大船真言(美術家)

進行 天野文雄(能楽研究/大阪大学名誉教授)

会場 ロームシアター京都 サウスホール

料金 1,000円 本公演(2/23)のチケット購入者は入場無料

事前申込はコチラ▶



絵画作品:大船真言《WAVE-infinite》
253×750cm(岩絵具、顔料・麻紙)
撮影:森山雅智
主催:京都市、ロームシアター京都
(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



能 石橋

前シテ 豊嶋幸洋
後シテ 宇高竜成
白獅子 今井清隆
後シテ 山田伊純
和合連獅子 種田道一

大鼓 谷口正壽
太鼓 前川光範
小鼓 吉阪一郎
笛 左鴻泰弘

豊嶋幸洋
宇高竜成
今井清隆
山田伊純
種田道一

舞囃子 雪

シテ 金剛永謹
小鼓 林吉兵衛

大鼓 河村大
太鼓 杉信太郎

湯川稜
向井弘記
種田道一
宇高竜成
豊嶋彌左衛門

舞囃子 乱

シテ 金剛龍謹
小鼓 林吉兵衛

大鼓 河村大
太鼓 井上敬介
杉信太郎

中村洋臣
今井清隆
今井克紀
豊嶋見嗣

魅する舞金剛

《継承と創造》

二〇二四年 二月二十三日(金・祝) 十三時開演
ロームシアター京都サウスホール 終了予定:十五時四十五分頃

金剛流は能楽シテ方五流のうち、宗家が東京以外に居住する唯一の流儀で、その芸風は、舞金剛“と称されています。この“舞”には「豪快」「華麗」という対照的な演技の両方が含まれています。本企画では、その“舞金剛”の魅力と舞囃子で堪能していただきます。能「石橋」は金剛永謹・龍謹の二人獅子、舞囃子は海獣狸々の酔態を模した『乱狸々乱』、音を立てずに拍子を踏む金剛流の専有曲『雪』。美術家の大船真言が手掛ける舞台空間にもご期待ください。

空間演出・美術・大船真言
照明・伊藤雅一(RYU)
舞台監督・大谷みどり
(株式会社京都舞台美術製作所)
企画協力・天野文雄
(能楽研究/大阪大学名誉教授)

能楽 金剛流 二十六世 宗家 大船真言

Hisamori Kongo

1951年生。公益財団法人金剛能楽堂財団理事長。一般社団法人日本能楽会会長。京都市立芸術大学客員教授。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2018年紫綬褒章受賞。2023年(令和4年度)恩賜賞、日本芸術院賞受賞。2023年重要無形文化財「能楽」各個指定保持者(人間国宝)認定。

能楽 金剛流 若宗家 金剛龍謹

Tasunori Kongo

1988年生。金剛流二十六世宗家金剛永謹の長男。幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛龍に師事。自身の演能会「龍門之会」主宰。同志社大学文学部卒業。京都市立芸術大学非常勤講師。公益財団法人金剛能楽堂財団理事。京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞受賞。重要無形文化財総合認定保持者。

美術家 大船真言

Makoto Ohno

1977年生。京都教育大学特修美術科日本画専攻研究科修了。作品と場と人との相互作用で生まれる豊かな空間体験を創り出す活動は広く国際的評価を得る。文化庁派遣によりパリ滞在。上賀茂・下鴨神社での個展や、国内外の美術館、公共施設での展示や永久設置など多数。近年、舞台との融合を手がけるほか活動は多岐にわたる。